

各 位

会 社 名 中央電気工業株式会社

(U R L http://www.chu-den.co.jp/)

代表者名 代表取締役社長 佐藤 公一

(コード番号 5566 東証第二部)

問合せ先 取締役総務部長 力久 勉

(T E L . 0 3 3 5 9 1 1 4 0 2)

決算発表資料の補足説明

今般のH17年3月期の決算発表に関して、株主の皆様からお問い合わせやご意見を頂戴しております。これらに関して補足説明致します。

1. 次期の業績予想(経常利益:当期実績52億円 次期予想10億円)の考え方について

H18年3月期の減益要因は、殆どがマンガン合金鉄事業の変化であります。42億円の減益内訳は、約3分の2が製品価格ダウン、約3分の1が原料コストアップによるものです。

マンガン合金鉄(以下「合金鉄」という。)の価格は国際市況(国際的需給環境)に基づいて決定されます。合金鉄代表品種・ハイカーボンフェロマンガンの代表的市況である欧州市況は、長く500ユーロ/トン前後で推移していましたが、H16年に入って急上昇し一時期1,200ユーロを超えました。しかしH16年10月以降下落傾向となり、H17年5月現在では600ユーロを切った水準にあります。これらの動きにより、製品価格がH16年度は急上昇し、H17年度は下落する見通しです。

他方、原料のマンガン鉱石は、昨年もアップしましたが今年は約6割アップしています。

市況乱高下の背景には、中国や旧CIS諸国の合金鉄業界の動きがあると思われます。従来、中国合金鉄は過剰生産で市況低下要因でしたが、ここ数年の鉄鋼業の急成長により、中国を始めとして世界の鉄鋼業で合金鉄需給が逼迫し、H16年に入って異常と思えるほど合金鉄市況が急騰しました。この間に、中国や旧CIS諸国で設備の大増設・増産・過剰生産・過剰在庫があり、現在、急激な値崩れとなっております。

<ご参考:合金鉄の生産量=世界1,000万t(100%)、中国400万t(40%)、日本50万t(5%)、当社10万t(1%)>

2. 業績について

当社は鉄鋼業の副原料を供給している素材産業であり、安定操業による安定供給と、市況下落時でも安定的な収益を確保することを目標としています。合金鉄は、夜間操業実施・環境事業推進等で国際競争力の確保に努力しております。

<連結経常利益推移>

(億円)

時期	H9.3	H10.3	H11.3	H12.3	H13.3	H14.3	H15.3	H16.3	H17.3	H18.3 予想
経常利益	1.5	1.2	3.2	2.3	2.3	4.6	1.8	5.1	52.4	10.0

(注: H16年3月期までの過去最高経常利益はH元年3月期の12.4億円)

3. 業績予想について

業績予想は東京証券取引所の適時開示規則に従い、作成時期に把握できる情報に基づき最も適切と思われる情報をお伝えしております。業績予想が大幅な減益であり、その考え方が説明不十分とのご意見も戴いておりますので補足説明をさせて頂いております。

合金鉄は国際的マーケット商品であり、先行マーケットの想定は中国・旧CIS諸国の動向が流動的な為、極めて難しいのが実情です。

H18年3月期の業績予想は、H17年5月10日の当社発表が初めてのものです。会社情報誌等の業績予想は、発行者の独自判断で作成されておりますことをご理解ください。

4 . ハイブリッド自動車電池用水素吸蔵合金について

機能材料事業（殆どが水素吸蔵合金）の損益は、H 1 7 年 3 月期の決算短信でご報告の通り、赤字は大幅に縮小しておりますが、まだ全社利益に寄与する段階には達しておりません。本事業は、将来的には大きく期待しておりますが、当面は数量増と合理化等により、早期黒字化を目指して参ります。

以上

上記の予想は発表日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。